



「不妊治療と仕事の両立支援に関する連携協定」

12月16日(月)に三重県庁において、三重県経営者協会、連合三重、三重県、三重労働局、三重県医師会、三重県産婦人科医会の6者において、全国で初めて「不妊治療と仕事の両立支援に関する連携協定」締結式を行いました。(詳細は9項をご覧ください)

目次・主な内容

■ 新年のご挨拶 (三重県経営者協会会長)	2
■ 新年のメッセージ (日本経済団体連合会会長)	3
■ 新年のご挨拶 (三重県知事)	4
■ 年頭のご挨拶 (三重労働局長)	5
■ 三重経協 News	6

■ 新年賀詞交換	15
■ 三重労働局 News	21
■ 三重県労働委員会 News	22
■ 新会員の紹介&れんらく・つうしん	23
■ 業務日誌	24



新年のご挨拶

三重県経営者協会

会長 小倉 敏 秀

あけましておめでとうございます。

会員の皆様方には、健やかに清々しく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は当協会の事業活動につきまして、格別のご配慮を賜り、心よりお礼申し上げますとともに、今年も変わらぬご支援を賜ります様お願いいたします。

今年は7月から9月にかけて、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。今大会は、東日本大震災で被害が甚大であった岩手、宮城、福島の前3県での競技開催を通じ、復興を成し遂げつつある姿を世界に発信する復興五輪としての役割も担っています。

当協会も、野球の会場に選ばれた福島での復興状況の視察とオリンピック観戦を実施する予定です。福島の復興が一層進むようエールを送るとともに、来年に控えている「三重とこわか国体・とこわか大会」に向けて、三重の活性化につながるような取組みにしたいと思います。

さて、企業経営に目を向けますと、昨年から段階的に施行されている「働き方改革」関連の法改正が今年も実施されます。

経営に大きな影響を及ぼすものとして関心が高いのは、4月1日から大企業で施行となる「パートタイム・有期雇用労働法」です（中小企業では2021年4月から施行）。正社員と非正規社員間の不合理な待遇差を禁止するもので、いわゆる「同一労働・同一賃金」が法制化されることとなります。

また、大企業では6月1日から「パワハラ防止法」が施行される予定です（中小企業では2022年4月から施行）。パワハラは、職場の人間

関係やコミュニケーションの問題とも密接にかかわっており、業務上必要な指導なのかパワハラなのか判断が難しいといった声も聞かれます。

当協会及び三重労使雇用支援機構では、これらの法改正に適切に対応できるよう、労務管理改善協力委員会を中心に勉強会を開催するなど、情報提供に努める所存です。

更に、当協会の活動の柱である、障がい者雇用や女性の活躍推進に関する事業についても積極的に推進してまいります。障がい者雇用については、法定雇用率が現行の2.2%から2021年4月までに2.3%に引き上げられることが決定しています。三重労使雇用支援機構を通じて取り組んでいる「障がい者ステップアップ推進運動」の活動等を通して、理解促進と雇用増加に繋げていきたいと思っています。

また、女性の活躍推進のため発足した「女性懇話会」は今年で10年目を迎えます。この会は、経営を担われている方、企業の管理職、労働団体、行政と幅広い分野の方々と構成されており、他団体の女性会とも積極的に交流しネットワークを広げています。今後も女性の活躍の場がますます増えるように後押ししてまいります。

労働力人口が減少する社会において事業を継続していくには、女性、高齢者、外国人や障がいをお持ちの方など多様な人材が活躍できる職場の整備が不可欠です。今年も当協会では、雇用、労働問題への対処をはじめ、会員の皆様のお役に立てる諸活動を推進してまいります。

結びに、新年が皆様にとって輝かしい年になるようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



—経団連会長新年メッセージ—

「デジタル技術を活かし、人間的で 幸福な暮らしの実現と社会課題の解決を」

一般社団法人 日本経済団体連合会

会長 中西 宏 明

昨年は多くの行事・イベントが続く年だった。令和の時代が始まる天皇陛下のご即位があり、大成功を収めたラグビーワールドカップに先立ち、日本で初めてのG20が大阪で開催され、経団連は先行して経団連会館でB20を主催した。多くの国々で政治と経済の不安定な状況が発生しているなかで日本経済は安定的な成長を続けていることから、日本は世界でもっとリーダーシップを発揮すべきとの声を聞く。

2020年を迎えるにあたり、わが国成長戦略の要であるSociety 5.0をしっかりと社会実装していく決意を新たにしている。デジタル技術の強みを活かして、より人間的で幸福な暮らしを実現し、社会課題の解決を図っていくことでSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献することができる。

その実現にはこれまでの個別課題の解決だけでは不十分であることから、分野横断的な活動を展開するデジタルトランスフォーメーション会議の議論を進め、新たなルールづくり、制度改革の方向性を積極的に打ち出していく。産業構造の変革を進め、新たな挑戦を促す競争環境の整備にも果敢に取り組んでいく。

少子高齢化に伴う人口減少の課題を真正面からとらえて、国民の将来不安を解消し、安心して明るい未来の構築に向けた成長戦略・財政健全化・全世代型社会保障改革を一体的に図る「経済構造改革」の実現を目指す。

昨今の台風被害、特に集中豪雨等の異常気象から地球温暖化が一層進みつつあると認識せざるを得ない。経団連は昨年4月に「日本を支え

る電力システムを再構築する」を提言した。そこで指摘した諸課題と施策の実現に向けて、日本の化石燃料依存からの脱却を進め、地球規模の課題を日本がイノベーションで先導すべく、経済界が総力を挙げて取り組んでいく。

激動の国際情勢はその変化の速度を増しており、先を見通すことは容易ではない。そうしたなか、わが国の政治と経済の安定を強みに、自由で開かれた国際経済秩序の維持・強化に向けた民間外交を展開し、グローバルな経済社会の安定と成長に貢献していきたい。

さらに今年は夏に東京オリンピック・パラリンピックが開催され、2025年には大阪・関西万博があり、多くの国々から多数のお客様が来日される。その成功に向けて皆様のより一層のご支援、ご協力をお願い申しあげる。





新年のご挨拶

三重県知事

鈴木 英 敬

あけましておめでとうございます。

令和最初のお正月。三重県経営者協会会員の皆様には、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

貴協会には、日頃から県政の推進、とりわけ働き方改革をはじめとする雇用経済行政の推進にかかる様々な取組に対し、格別のご理解、ご協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

昨年は、4月に、上皇上皇后両陛下が「神宮に親謁の儀」のため平成最後の地方への行幸啓として、また11月には、天皇皇后両陛下が「即位礼及び大嘗祭後神宮に親謁の儀」のためご来県なされました。時代の節目に、三重の地で歴史的な儀式が執り行われたことを大変光栄に思います。「令和」の時代においても、県民の皆さんが笑顔で安心して暮らせる「幸福実感日本一」の三重の実現に向け、着実に取り組んでまいります。

昨年4月に施行された「働き方改革関連法」では、時間外労働の上限規制が導入されるとともに、年5日の年次有給休暇を取得させることが義務付けられたところです。この法律が施行される前の昨年3月に、県は「働く人の『時間を大切にする三重県』宣言」として、貴協会や、連合三重、三重労働局とともに、ワーク・ライフ・バランスの推進にさらに取り組む決意を表明しました。

今年4月からは中小企業においても、この法律の規定が適用されるなど、労働に関係する制度が大きく変化するなか、経営者の皆様にとって、働き方改革の推進はますます重要さを増していることと存じます。

県では、働き方改革に意欲的に取り組む中小企業にアドバイザーの派遣を行い、生産性の向上や人材の確保・定着につながる取組を支援するほか、今年度は、「みえの働き方改革推進企業」として過去最大となる65社が登録されるなど、県内企業の皆様の取組が成果にあらわれつつあります。

また、県では、誰もが働き続けることができる職場づくりにも注力して取り組んできました。

障がい者雇用の取組に関しては、ステップアップカフェ「Cotti 菜」が、おかげさまで昨年12月に5周年を迎え、貴協会のご支援のおかげもあり、5年間で、12万人を超える方にご来店いただくとともに、5人の障がい者スタッフが企業に就職するなど、障がい者の自立と社会参加を促す取組の一つとして、大きな成果を上げています。

また、妊娠・出産・子育て等と両立しながら働き続けられる職場づくりを進めてきましたが、さらに、昨年12月には、仕事と不妊治療の両立について、全国で初めとなる連携協定を締結し、貴協会や、連合三重、三重県医師会、三重県産婦人科医会、三重労働局と協力して取り組んでいくこととなりました。貴協会のご理解とご協力に、重ねてお礼申し上げます次第です。

県としましては、今後も「幸福実感日本一」の三重の実現に向け、働き方改革の推進や、誰もが活躍できる環境づくりに取り組んでいく所存です。貴協会におかれましては、今後とも変わらぬ、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、三重県経営者協会のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



年頭のご挨拶

三重労働局

局長 下角 圭 司

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、三重労働局の行政運営に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

県内の雇用情勢は、昨年11月の有効求人倍率が1.56倍とこのところ低下傾向にあるものの、求人が求職を大幅に上回って推移しています。こうした中で、今年は、昨年6月の骨太方針2019に盛り込まれた「就職氷河期世代支援プログラム」に基づき、雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った世代の皆さんの正規雇用化等の支援の取組が予定されています。実施に当たっては、労働局、県、労使団体等がプラットフォームを構築して取り組むとされており、関係者間の連携協力が重要となりますので、貴協会並びに会員の皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

労働災害については、本来あってはならないものですが、加えて、労働生産性を阻害し、働き方改革を進める上でも大きな支障となります。三重労働局では、第13次労働災害防止計画（計画期間：2018年度～2022年度）に基づき、「死亡災害ゼロ」の実現と「死傷災害アンダー2,000」の早期達成を目指して取組を進めており、昨年に引き続き、本年1月から「令和2年『チャレンジアンダー2,000みえ』推進運動」を実施してまいります。

また、労働衛生の分野では、「月80時間を超える長時間労働が行われている事業場において医師による面接指導の実施率80%以上」、「労働者数50人未満の事業場におけるメンタルヘルス対策への取組率70%以上」等の達成を目指してまいります。

さて、昨年4月から「働き方改革関連法」が順次施行されています。「時間外労働の上限規制」や「年次有給休暇の年5日取得」等の義務化により、働き過ぎを防ぐことで働く方々の健康を守り個々の事情に応じた多様な「ワーク・ライフ・バランス」の実現を目指すほか、「雇用形態に関わらない公正な待遇の確保」によって同一企業内における正規・非正規間の不合理な待遇差をなくし、どのような雇用形態を選択しても

納得できるようにするなど、一億総活躍社会の実現に向けた「働き方改革」の取組を進めているところです。併せて、政府としては、適正なコスト負担を伴わない短納期発注や発注内容の頻繁な変更を行う等の「しわ寄せ」によって、下請け等中小事業者の働き方改革が阻害されることがないように、取り組んでまいります。

三重労働局においても、「働き方改革」に取り組む中小企業・小規模事業者をはじめとする全ての企業を支援するため、「働き方改革推進支援センター」を開設して、社労士等の専門家が様々なお問合せに対応し、助成金などの各種支援策を活用した具体的な取組について技術的助言を行うほか、各労働基準監督署内に「労働時間相談・支援コーナー」を開設し、今般の法改正により新しくなった36協定届の様式や年次有給休暇の取得義務の具体的な考え方など、関連法の中身について丁寧にご説明を行うなど、周知や相談等の支援に力を入れています。

三重労働局では、「働き方改革による労働環境の整備、生産性向上の推進等」「人材確保支援や多様な人材の活躍促進、人材投資の強化」を令和元年度行政運営の基本方針に掲げ、当地域の総合労働行政機関として、労働基準、職業安定、雇用環境・均等、人材開発の四行政分野の施策を総合的、一体的に実施しております。これら施策の実施に当たっては、労働局関係各部署と労働基準監督署、公共職業安定所が一体となって機動的かつ的確な対応を図るとともに、三重県をはじめ、地方自治体、労使団体、その他広く地域関係者の皆様と連携を密にした上で、適切かつ効率的な行政運営に努めてまいります。

私ども三重労働局職員一同、直面する施策・課題に全力で取り組んでまいり所存でありますので、貴協会におかれましては、本年も引き続き、ご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、貴協会並びに会員の皆様方のご健勝・ご活躍を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

10月度理事会

10月17日（木）都シティ津5階「伊勢東中の間」において、理事会並びに特別講演を開催しました。当日は、理事会28名、特別講演36名の参加者がありました。



挨拶をする小倉会長

1. 開会【会長挨拶】

本日は大変ご多用のところ多数ご出席いただき、誠にありがとうございます。また、平素から当協会の事業運営につきまして、格別のご支援、ご協力を賜っておりますことを、併せて厚く御礼申し上げます。

始めに、皆様もご承知の通り、百五銀行代表取締役会長でありました上田豪^{つよし}様が、去る8月25日にご逝去され本日お別れの会が執り行われました。上田氏におかれましては、当協会の理事を10年の長きにわたり務めて頂き、ご支援を賜りました。皆様と共にご冥福をお祈り申し上げたいと思います。

また、この度の台風19号では県内でも大変な被害が発生し、特に関東・東北地方におきましては、多数の方がお亡くなりになりました。謹んでお悔やみ申し上げますと共に、被災された方々には心よりお見舞い申し上げます、早期の復旧をお祈り致します。

さて、10月から消費税が引き上げられ、景気対策として軽減税率やキャッシュレス決済時のポイント還元制度も始まりました。ポイント還元については、なかなか分かりづらく、参加する事業者も伸び悩んでいるようです。景気対策の効果を大いに期待したいところでございます。しかし、依然として消費マインドの落ち込みが懸念され、先行きの予断を許さない状況にあります。今後の動向を注視したいと思います。

一方、県内に目を向けますと、11月21日から23日の日程で天皇・皇后両陛下がご即位後初めて来県され、伊勢神宮を参拝されることが決定しました。今年は、令和への改元のお祝いムードとも相まって、伊勢神宮の参拝者数が増えています。過去最高を記録した前回式年遷宮の平成25年（1,420万人）、その翌年でおかげ年の平成26年（1,086万人）に次ぐ、過去3番

目の記録となる980万人に達するとの見込みです。皇室にゆかりの深い伊勢に一層注目が集まり、活況が期待されるところであります。

それでは本日の理事会では、これまでの事業の進捗と予算の執行状況についてご報告させていただきます。

主なものを2点申し上げますと、1点目は、三重県より受託した「働き方改革に関する意識調査事業」であります。企業、労働組合、また一般の皆様を対象に、働き方改革への取組状況や課題を調査するもので、この調査結果は今後の県の施策に反映される予定であります。

2点目は、県外大学との「就職情報交流会」であります。今年8月に、関西地区3校に訪問しましたが、訪問する形での交流会は初めての試みで、参加企業、大学の双方から大変好評を頂きました。

今後も、労務や雇用に係る支援を通じて、企業の発展に役立つよう役割を果たして参りたいと思いますので、引き続き力強いご支援、ご協力をお願い申し上げます。

尚、本日は理事会の後に「ほめちぎる教習所」として話題の大東自動車（株）（南部自動車学校）代表取締役社長の加藤様からご講演を頂く予定です。人財育成のヒントとなるお話を頂けるものと楽しみにしておりますので、最後までお付き合いのほど、よろしくお願い申し上げます。

2. 決議事項

①理事交代の件

交代日 令和元年7月1日

（退任）

西日本電信電話（株）三重支店

支店長 ^{おおにし ひでたか} 大西 秀隆 氏

（新任）

西日本電信電話（株）三重支店

支店長 ^{すぎもと わたる} 杉本 渉 氏

（退任）

東海旅客鉄道（株）三重支店

三重支店長 ^{にしかわ かずや} 西川 員也 氏

（新任）

東海旅客鉄道（株）東海鉄道事業本部三重支店

三重支店長 ^{えぐち けいいち} 江口 圭一 氏

交代日 令和元年 10 月 9 日

(退任)

(株)百五銀行 代表取締役会長 ^{うへだ つよし} 上田 豪 氏

(新任)

(株)百五銀行 代表取締役頭取 ^{いとう としやす} 伊藤 歳恭 氏

②理事退任の件

退任日 令和元年 7 月 1 日

(退任)

(株)荏原風力機械

代表取締役社長 ^{いのうえ たかお} 井上 貴雄 氏

退任日 令和元年 9 月 6 日

(退任)

(株)小林機械製作所

代表取締役会長 ^{ながた やすひろ} 長田 泰宏 氏

※満場一致で承認されました。

3. 報告事項

(1)令和元年度事業進捗状況

(2)令和元年度予算執行状況

※(1)(2)いずれもご賛同頂きました。

事業活動報告

◆三重労使雇用支援機構

◆三重県「産・福・学」障がい者雇用情報交流会

◆若年者雇用対策

◆令和元年女性懇話会

◆第 22 期労務管理改善協力委員会

◆令和元年度「新入社員フォロー研修」「階層別研修」

◆第 62 回三重労使会議

◆中部経協三県連携事業

2019 年度セミナー御案内

◆会員増強

※以上の状況が事務局より報告されました。



理事会風景

特別講演

「ほめるちぎる教習所のやる気の育て方」

皆さんは「ほめる」ことが苦手だと思いませんか？どうも叱られて育ってきた昭和世代の人は(笑い)「ほめる」ことが苦手な人が多いようです。

実は私も大変苦手でしたが、20 年ほど前に会社創立 40 周年旅行で行ったハワイで、水上スキーのインストラクターに、50 分の時間中ほめちぎられて指導を受け、運動神経の良くない私が最後にやっと立つことが出来るまでになり、「ほめる」ことの効果を実感しました。

しかし日本に持ち帰り、自動車学校ですぐには実践できない、と封印してきましたが、7 年前にいよいよこの「ほめる」授業を開始することになりました。

大東自動車株式会社
(南部自動車学校)
代表取締役社長

加藤 光一 氏



講演する加藤社長



「ほめる」ということは「お世辞をいうこと」とネガティブに捉えられがちですが、決してそうではなく、「人」・「モノ」・「起

きる出来事」の価値を発見し伝えることです。「人」とは周りの他者、「モノ」は会社で言えば商品のこと、最後の「起きる出来事」というのは事象の本質を捉える事、つまり置き換えて考えるとピンチをチャンスに変えるということです。

私は、2 年半前に受けた P E T 検査で、ステージⅣの悪性リンパ腫と診断されました。その時、医師から

抗がん剤治療が有効かどうかは50%の確率で、悪くすれば余命3年と宣告され、さすがに大きなショックを受けましたが、その時すでに「ほめ達」の活動を始めて3年ほどが経っており、みんなに「ピンチをチャンスに」と訴えていましたから、「この人生最大のピンチをどう捉えたらチャンスに置き換えられるか」と取り組み方を変え、3年間で達成する目標を

- 1、腹筋をシックスパックにする
- 2、英会話ができるようにする

として、治療の合間の病室に器具を持ち込み、若いフィリピン女性の英会話の先生も頼みました。

最初は面倒なことが多かったものの、続けていることに面白さを見出すことが、治療にも良い効果があったようで、半年後の再検査で、きれいに悪性リンパ腫がなくなっていました。

「情けは人の為ならず」という言葉がありますが、言い換えれば「ほめるは人の為ならず」で、他人をほめることが、結局は自分の心を整え、相手との関係をよくすることになると思います。

最近、スポーツ界ではテコンドー協会や女子レスリングなどその在り方が厳しい批判にさらされている半面、青学陸上部の原監督やテニスの大坂選手のコーチのサーシャ氏のように選手のやる気を引き出す指導が評価されています。又、伊勢のある医師が子供を塾に行かせるために暴力をふるったとして警察に逮捕される事件が起きるなど昔ではあり得ない事件も起きました。又、インターネットなどに成功事例や模範例など情報があふれる中で効率を重視する若者が増え、「お金」や「福利厚生」などが働くためのモチベーションとなっていました。が、「お金」など現実的なものではなく「成長の実感」や「貢献の実感」など「心の報酬」を求める人が増えているように思います。つまり世の中が大きく変わってきているということです。



講演風景

に乗りたくて来るのではなく、就職などの必要のために来る人が殆どで、最初から消極的な姿勢で教習所に

私どもが「ほめちぎる教習所」に変わらなければならなかった背景には少子化と、若者の車離れがあります。自動車学校に来る若者は車

やって来ます。ですから厳しく叱ると自動車学校に出てこなくなります。泣いてしまう子もいて、後でヒアリングすると「生まれて初めて叱られた」という子ま



参加者同士で30秒間
ほめちぎる実践風景

で現れました。もう厳しい教え方が通用しなくなったのです。変わらなければならないのは私たち自動車学校側だと判ったのです。「ほめちぎる教習所」に生まれ変わる

ことにより、劇的に状況も変化しました。自動車学校としての質を表す数値、つまり検定合格率が上がり、卒業生の事故率が下がっただけではなく、テレビなどのメディアに「ほめちぎる教習所」として取り上げられることが多くなり、現在では在校生数が創立以来最大になっています。

私どもの教習所ではその承認欲求と成長実感を高め、更にやる気を持って頂くために、講習を細分化しました。例えば「S字」をクリアするため11段階に分けて達成目標を定め、それをクリアするたびにほめちぎります。ほめる機会を増やせばその量は決して裏切りません。人には承認欲求があり、存在を認められ、ほめられることでその人が主体的能動的に行動し、それにより更に成果を生みます。スタッフの教育も勿論同様で、「ほめロープレ」を繰り返し、良い笑顔を作れないとタイムレコーダーが動かない仕組みも作っています。

人はほめられ承認欲求を満たされ、自主的に行動するようになります。指示されて行動するときの成果を1とすれば、主体的に行動した時の成果は1.6倍の2乗分の効果があるとされます。

相手をほめるためには究極の聞き上手になることが肝要で、『ほめ達!』では、「すごい」、「さすが」、「素晴らしい」の3Sを口癖にし、それに「そう来るか」、「惜しい」と付け加えることを推奨しています。

ほめるのが苦手とされる我々日本人が相手の存在を認め成果を挙げるためには、かつて経営の神様と言われた松下幸之助氏の「ダム式経営」の講演を聞き、教えを受けた稲森和夫氏のように「ほめる」ことに、覚悟を決めて取り組む必要があります。

(文責：事務局)

三重経協活動報告

不妊治療と仕事の両立支援に関する連携協定

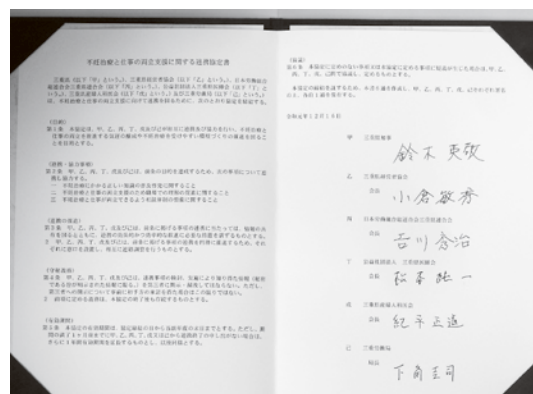
12月16日（月）、県庁プレゼンテーションルームにおいて、「不妊治療と仕事の両立支援に関する連携協定」締結式を全国で初めて6者で行いました。

この締結の趣旨は、近年晩婚化等を背景に、不妊治療を受ける夫婦が増加しており、働きながら不妊治療を受ける方は増加傾向にあると考えられます。しかしながら不妊治療に対する支援制度のある企業は少なく、仕事と不妊治療との両立ができず、やむを得ず離職する場合も多いといわれており、こうした人材を失うことは、企業にとって大きな損失となります。不妊治療を行う従業員の多くが、休暇制度や柔軟な勤務を可能とする制度など、利用しやすい環境づくりを求めている、仕事と不妊治療の両立について、職場で理解を深め、従業員が働きやすい環境を整えることは、有能な人材の確保という点が、企業にもメリットがあります。そこで、三重県経営者協会、連合三重、三重県医師会、三重県産婦人科医会、三重労働局、三重県が幅広く連携し、不妊治療に関する正しい知識の普及、職場での理解促進、相談体制の充実をめざし協力して取り組んでいくため、連携協定を締結することが趣旨であります。

この連携協定を機に、6者が協力して不妊治療と仕事の両立を推進する機運の醸成や、不妊治療を受けやすい環境づくりの推進を図って参ります。



締結写真



連携協定書



集合写真

ステップアップカフェCotti菜5周年記念イベント

「障がい者イニシアティブの働き方で可能性を広げる」



イベント風景



パネルディスカッション風景

12月12日（木）三重県総合文化センター「多目的ホール」において、ステップアップカフェCotti菜5周年記念イベント「障がい者イニシアティブの働き方で可能性を広げる」（主催：三重県、共催：三重労使雇用支援機構、三重県経営者協会、連合三重）を開催しました。当日は労使や障がい者施設・行政関係者等174名と非常に多くの参加者でありました。このイベントは、経協が支援して参りました、「ステップアップカフェCotti菜」が12月で5周年となることを記念し、パネルディスカッションを開催しました。パネルディスカッションでは、障が

い者が主体となって活躍できる働き方を進めていくため、ITの活用や働き方の工夫による先進的な取り組みで、障がい者の働く機会をつくる起業家もパネラーとして参加しました。また、Cotti菜総括責任者の豊田氏から、「県内の障害者雇用の機運はずいぶん変わった」と振り返られました。更に、重度障害者が視線で操作する分身ロボット「OriHime（オリヒメ）」の活用や、今後テクノロジーを使った活用方法等がインターネット回線を使用し、東京の吉藤氏からお話し頂き、今後の障がい者の働き方への可能性が広がる有意義なイベントとなりました。

◆プログラム

- ・とこわかダンス
- ・鈴木三重県知事開会宣言
- ・小倉三重県経営者協会会長挨拶
- ・吉川連合三重会長挨拶
- ・連合三重によるカフェマップ贈呈

第1部：パネルディスカッション

パネリスト

社会福祉法人朋友 Cotti菜総括責任者 豊田 悦子 氏
 (株)オリイ研究所 代表取締役 CEO 吉藤 健太朗 氏
 一般社団法人ありがとうの種 代表理事 柳 匡裕 氏

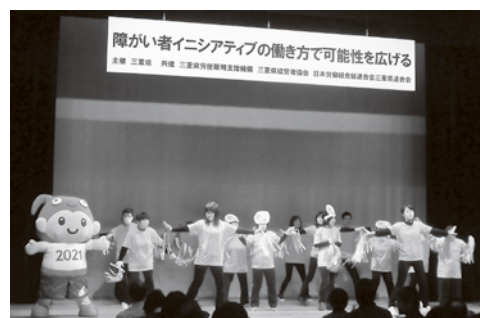
コーディネーター

三重県知事 鈴木 英敬 氏

第2部：交流タイム



挨拶する小倉会長



とこわかダンス風景



交流会風景

女性懇話会（宝塚大劇場）

10月24日（木）に女性懇話会を開催し、当日の参加者は25名でありました。今回は、久し振りに県外での活動でありました。初めての企画として、女性の憧れである宝塚大劇場で観劇し、参加者同士の一層の交流と女性懇話会の活性化を目的に開催しました。内容については次の通りです。



宝塚大劇場集合写真1

(1) 宝塚大劇場（観劇）

内容：月組公演 日本オーケストラ友好150周年記念
UCC ミュージカル I AM FROM AUSTRIA ～故郷は甘き調べ～

2019年6月まで異例のロングランを果たした話題作で、日本とオーストリアが国交を樹立して150周年となる記念の年に、105周年を迎えた宝塚歌劇の「我が心の故郷」という郷愁とも重なるこの作品を、珠城りょう、美園さくらを中心とした月組により、日本初演の作品です。初めて見た方も、演者の華麗なる演技に感動しておりました。



宝塚大劇場集合写真2

(2) TASAKI 神戸本店（最新ジュエリーの紹介とショッピング）

今回は、TASAKI 神戸本店にて、最新ジュエリーの紹介を担当者よりして頂き、実際に何点か付けて参加者によるミニジュエリーファッションショーを行いました。その後、ショッピングとなり、参加者の表情や目の輝きが宝石より増し、皆さん非常に輝いていました。

女性懇話会役員会開催



女性懇話会役員会風景

12月9日（月）に女性懇話会役員会を三瀬谷大黒屋津市乙部店にて開催しました。伊藤代表（伊藤印刷株）の挨拶に続いて会議が行われました。今年の活動報告の後、来年の活動内容・スケジュール案が事務局より説明があり、スケジュール案が承認されました。当日は7名の参加者でありました。

労務管理改善協力委員会（11月第1部会活動報告）



労管第1部会風景

11月8日（金）プラザ洞津「末広の間」において、11月第1部会を開催しました。当日は37名の参加者でありました。

中林第1部会長（三重交通株）の挨拶に続いて講演が行われました。近年、インターンシップのニーズが年々増加や多様化する中で、量から質へと変化し、最近ではインターンシップ・就職活動において、特に学生と保護者の関係が重要となっております。今回はこれらを踏まえて、今後のインターンシップや採用活動の参考となる部会でありました。

◆プログラム

講演：「インターンシップと就職活動の変化」

～学生の変化、学生と保護者の関係の変化～

- ・大学・大学生マーケットの現状と今後
- ・大学から見たインターンシップの現状と今後
- ・大学生の就職に対する意識の現状
- ・インターンシッププログラムの具体例
- ・インターンシップに対する学生の声
- ・インターンシップをどう採用に繋げるのか

講師：名古屋経済大学経済学部教授

キャリアセンター長 大黒 光一 氏（元リクルート 就職ジャーナル編集長）



挨拶する中林第1部会長



講演する大黒講師

中部経協三県連携事業

階層別研修 第2回「部下育成講座」

～グローバル時代に求められるビジネスパーソン像と管理者の育成～

11月15日（金）プラザ洞津「末広の間」において、第2回階層別研修「部下育成講座」を28名で開催しました。

講師は（株）ヒューマンブレイン 代表取締役の稲垣正己氏を講師にお迎えし、前回の振り返り（特に自分のタイプ、パラダイム・：チェンジ）を行い、その後、「あなたは、人の話を聴いていますか？」として傾聴テストを行いました。管理者として部下・後輩の話を本当に聴いているか確認し、自分自身、自己主張が強い方かを確認し、人の話を聴く時にどのような聴き方をしているかを診断。また、部下の状況把握をし、実際に部下育成計画を立てながらグループで討議を行いました。今回は、変化適応力を強化するために、先入観や思い込み、偏見、ブライミング等、良くないパラダイムを払拭し、自分自身のマネジメントスタイルを磨き上げる事を学んで頂いた講座でありました。

■主なプログラム

- ・管理者として部下の・後輩の話を本当に聴いているか（傾聴テスト）
- ・納得のコミュニケーションサイクル
- ・コミュニケーションスタイル
- ・OJTの基本姿勢
- ・部下状況把握
- ・部下育成計画書作成



講義する稲垣講師



講義風景

中部経協三県連携事業

新入社員フォロー研修第2回「チームワークを大事にする新人育成」

12月5日（木）プラザ洞津「孔雀の間」において、新入社員フォロー研修第2回「チームワークを大事にする新人育成」を参加者38名で開催しました。

講師は(株)ソ・ラボ 代表取締役の山田将史氏と同じく今尾容子氏の2名の講師をお迎えし、前半は前回の振り返りを行い、自分自身で学んだこと・気づいたことを確認しました。各グループ別に発表する中で、前回「行動チェック表」を毎日記入していくよう指導されましたが、実際に行った参加者が非常に少なく、また、仕事に対するモチベーションが低下している参加者もありました。急遽、講師が本来のプログラムを変更し、様々な経験談を踏まえてお話しして頂いた結果、当初に比べ、参加者の意識が改善されました。その後、2人ずつ向かい合い傾聴トレーニングを行い、発信力について講義が行われました。後半は、グループに分かれてゲームを2つ行いました。今年度も昨年度に引き続き、参加人数が多い為、2人の講師のもと、各4つのグループに分かれて予算獲得ゲームを行いました。このゲームは各グループが不動産会社となり、社長等役割を決めて、他のグループと交渉・駆け引きなど知恵を戦わせいく体験ゲームです。ゲームの大きな目的は、①目的を共有する②相手の「心情」を具体的に伝える③相手の話を聴き、理解しようとする姿勢④部分最適でなく、全体最適で考えるこの4つとなっております。皆さん入社から約8ヶ月が経過し、初回の表情とは違い、社会人らしさが出ておりました。また、前回とグループ分けを変えて行っているため、新しいメンバーでお互い真剣に自分の意見を発信していました。

■ 研修の目的

①発信力 ②傾聴力 ③柔軟性 ④状況把握力 ⑤規律性 ⑥ストレスコントロール
ルール

・礼儀礼節を守る ・時間厳守 ・反応する（聴く、姿勢） ・全員で助け合う

今日を素晴らしい1日にするために

・積極的に！「今・ここ・自分」

→たくさん発言し、たくさんチャレンジし、そして失敗すること！

・メモをする ・シェア（共有）する



講義する山田講師



傾聴トレーニング風景

年末調整実務セミナー



セミナー風景

11月18日（月）プラザ洞津「明日香の間」において、「年末調整実務セミナー」を開催しました。当日は23名の参加があり、講師の今井 富久翁税理士及び副所長の今井 隆文両名から前半・後半に分けて講義が行われました。初めて担当される方も参加されていた為、年末調整とは何かを説明し、特に各種控除について詳しく説明がありました。今年の変更部分について説明後、手順と例に基づいて実際に計算が行われました。続いて、「年末調整Q&A」を想定される質問が書かれたテキストを基に解説し、最後に個別での質問時間を設け、皆さんから質問が多数出ていました。



講演する今井講師

第21回三重県経営者協会会員親睦コンペ

11月20日（水）松阪カントリークラブにおいて、第21回三重県経営者協会会員親睦コンペを開催しました。14名（IN4組）が参加され、熱戦の結果、優勝者は昨年に続き大川 智弘氏（株三交イン 代表取締役社長）に決まり、鏡副会長より優勝トロフィー並びに優勝賞品が授与されました。

今回は、初参加の方も見え、皆さんプレーをしながら懇親を深められました。



経協コンペ参加者集合写真



優勝トロフィーを鏡副会長(右)より授与される大川氏(左)

【順位表】

順位	氏名	会社名・職名	GROSS	H'CP	NET
優勝	大川 智弘	(株三交イン 代表取締役社長	98	24.0	74.0
準優勝	中辻 孝巳	日本トランスシティ(株) 秘書課長	104	27.6	76.4
第3位	富山 挙行	(株三交不動産 常務取締役	84	7.2	76.8
第4位	伊藤 孝行	伊藤印刷(株) 取締役会長	96	18.0	78.0
第5位	岡本 直之	三重交通グループホールディングス(株) 代表取締役会長 三重県経営者協会 顧問	99	20.4	78.6

※同スコアの場合、年長者を上位とする。

働き方改革アドバイザー派遣事業中間報告会



中間報告会風景

(内容)

主催者挨拶：三重県雇用経済部雇用対策課

働き方改革・勤労福祉班 班長 内山 忍氏

内容：各社の取組発表

グループワーク

11月13日（水）三重県勤労者福祉会館にて、三重県主催、運営（三重労使雇用支援機構、株式会社CREA）の働き方改革アドバイザー事業中間報告会を10名の参加者で開催しました。今回は働き方改革アドバイザー派遣事業（入門編・実践編）で支援している企業が一堂に会して、各社の現状の取組の中間報告を行い、その後、グループワークにて取り組んでいる内容や課題を共有し、今後の各社の取組の参考となる報告会でありました。



主催者挨拶をする
内山班長



三重県経営者協会

会 長 小 倉 敏 秀
副 会 長 小 川 謙
副 会 長 川 村 則 之
副 会 長 伊 藤 恵 子
副 会 長 水 野 正 信
副 会 長 駒 田 美 弘
副 会 長 田 山 雅 敏
副 会 長 鏡 誠
専務理事 西 場 康 弘

(50音順)

株式会社 R&E コンサルタント
経 営 コ ン サ ル タ ン ト
(経営・労務・人材育成・地域活性化・成長戦略)
代表取締役 小 林 吉 光

旭鍍金株式会社

代表取締役社長 中 山 敏
TEL 059-234-9555

イメージ クリエイト
想像を創造する
各種印刷からホームページなどのデジタル関連商品まで幅広いメディアに対応して、
皆様の情報発信のお手伝いをいたします。
株式会社 アイブレーション
TEL 0596-27-1111(代) 代表取締役 楠木 裕子

株式会社 朝 日 屋

〒514-0031 津市北丸之内20
代表取締役 香 田 佳 永

株式会社 市 福

代表取締役社長 濱田 勝子

アサヒレジャー株式会社

代表取締役社長 上 野 精 一

18ヶ国語、AI教育、海外人材紹介/教育 株式会社 アサヒ外語学院

代表取締役社長 高 木 暢 子

☎0120-86-8748

アミカン株式会社 東洋工業株式会社

代表取締役 伊 藤 勘 作

 伊勢新聞社 代表取締役社長 小林 千三	株式会社 おやつカンパニー 代表取締役社長 手島 文雄
 伊勢赤十字病院 病院長 楠田 司	キオクシア株式会社 常務執行役員 生産統括責任者 四日市工場長 松下 智治
ISO27001 情報管理国際認証取得  伊藤印刷株式会社 代表取締役 伊藤 誠司	 ふれあい・たいせつに きゅーとら 代表取締役 清水 秀隆
今村会計事務所 所長・税理士 今村 元宣	Shima Kanko Hotel 株式会社近鉄・都ホテルズ 志摩観光ホテル 常務取締役総支配人 三嶋 庸弘
人を取り巻く全ての予防衛生を支援します 株式会社 イムテス 代表取締役会長 小林 眞一郎 代表取締役社長 山口 久美	都シティ 津 株式会社 近鉄・都ホテルズ 総支配人 瀬谷 周一
おいしい! の笑顔をつくる  井村屋グループ 代表取締役会長 (CEO) 浅田 剛夫	都ホテル 四日市 株式会社 近鉄・都ホテルズ 執行役員総支配人 玉井 啓之
創業36年 〜ありがとうございます〜 〜まごころこめて〜製造・物流サポートします  オーユーセス株式会社 代表取締役社長 木下 隆生	 農紫屋 クラギ株式会社 代表取締役 竹内 秀樹
冷凍／空調／電気 工事・メンテナンスなら 「地域密着! 顧客満足度120%」の 有限会社 奥田冷機 取締役会長 奥田 幸広	 学校法人 皇學館 皇學館大学 皇學館高等学校・皇學館中学校 理事長 佐古 一洸

 御在所ロープウェイ GOZAISHO ROPEWAY 取締役社長 別府 通孝	 響いてこそ技術 SINFONIA シンフォニアテクノロジー株式会社 執行役員 伊勢製作所長 成久 雅章
～東京・静岡・愛知・三重・京都・大阪に全14店舗～  株式会社 三交イン SANCON — 三交インGrande名古屋、2020年4月開業予定 — 取締役社長 大川 智弘	 SUZUKA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE 鈴鹿医療科学大学 SUMS 理事長 高木 純一 学長 豊田 長康
三交興業株式会社 名阪関ドライブイン 名阪上野ドライブイン 取締役社長 豊永 久	学校法人 享栄学園 鈴鹿大学 鈴鹿大学 短期大学部 理事長・学長 市野 聖治
 安全で快適な暮らしをサポート 三交コミュニティ 取締役社長 安藤 澄人 TEL:059-253-4051	 住友電装株式会社 代表取締役執行役員社長 川井 文義
安全・安心・快適 株式会社 三交タクシー 取締役社長 長野 成司	株式会社 ZTV 取締役社長 田村 欣也
 株式会社三交ドライビングスクール 四日市自動車学校 名四自動車学校 取締役社長 今藤 良雄	南部自動車学校グループ 共感警備の (株)セフティージャパン 代表取締役社長 加藤 有翔
三交不動産株式会社 取締役社長 高林 学	未来に提案します!  株式会社 扇港電機 代表取締役社長 横山 大幸
優良派遣事業者認定 株式会社 ジェントリー 代表取締役社長 伊藤 正憲	クスリをもっと、人の近くへ。 中外医薬生産株式会社 代表取締役社長 田山 雅敏

感激・感動・成長をキーワードに 100年企業を目指す 株式会社 中勢ゴム 代表取締役社長 稲垣 仁 美	ナガシマリゾート 長島観光開発株式会社 取締役社長 水野 正 信
感動空間創造企業 TSUJIKO CONSTRUCTION CO., LTD. 株式会社辻工務店 http://www.tsujikoumuten.co.jp 代表取締役社長 吉田 安寿	中辻医科器械株式会社 代表取締役 三宅 努
未来へつなぐ津商工会議所～魅力あふれる津市へ!! 津商工会議所 会頭 伊藤 歳 恭	 21世紀のエネルギーを考える会・みえ 会長 小林 長 久 津市栄町3丁目248番地 きりんセカンドビル302号 TEL 059-229-3790
魅力好感百貨店 株式会社 津松菱 代表取締役社長 谷 政 憲	日東カストディアル・サービス株式会社 三重支店 支店長 増井 隆 志
東海労務経営管理センター 社会保険労務士・行政書士 松田 貢 TEL 0598-51-0353 FAX 0598-51-0334	日本トランスシティ株式会社 代表取締役会長 小川 謙
あした すてきに!  TOHO GAS 東邦ガス株式会社三重支社 支社長 草深 隆 道	ネッツトヨタ三重株式会社 代表取締役社長 都築 幹 典
快適以上を、世の中へ。 TOENEC 中部電力グループ 株式会社 トーエネック 執行役員三重支店長 池山 竜 夫	野村證券株式会社 津支店 支店長 後藤 健太郎 いまから、ずっと。これから、もっと。 人生100年パートナー
 湯めぐり海百景 鳥羽シーサイドホテル 代表取締役社長 藪本 竜太郎	パーソルテンプスタッフ株式会社 代表取締役社長 和田 孝雄 取締役専務執行役員 山本 光子 TEL:059-213-7800

人と企業を誠意で結びます  株式会社パソピア 代表取締役 味岡 康弘 TEL 059-213-6733	「快適なタクシー」  三重近鉄タクシー株式会社 代表取締役社長 末吉 利教
 百五銀行 取締役頭取 伊藤 歳恭 FRONTIER BANKING 	三重県観光開発株式会社 取締役社長 宮 脇 栄 治
公立学校共済組合津宿泊所 プラザ洞津 支配人 辻 昭 司 TEL 059-227-3291	 三重交通株式会社 代表取締役社長 竹 谷 賢 一
 株式会社 松阪カントリークラブ 代表取締役社長 飯 田 爾 TEL:0598-29-2911	 三重交通商事株式会社 取締役社長 藤 原 茂 久
ものづくりに携わり、100年 MCC CORPORATION 株式会社 松阪鉄工所 代表取締役社長 加 藤 賢 治	 創立70周年を迎えました！ これからも、がんばる企業を目指します。  三重県信用保証協会 会長 植 田 隆
三重いすゞ自動車株式会社 代表取締役社長 川 村 則 之	地域にイノベーションを 国立大学法人 三重大学 学 長 駒 田 美 弘
〈昭35.10.開場〉  株式会社 三重カントリークラブ 取締役社長 北 角 亘	三重テレビ放送株式会社 代表取締役社長 長 江 正 TEL:059-226-1133
「三重から世界へ」!! 信頼される製品づくりに努めています。 三重金属工業株式会社 代表取締役社長 平 谷 雅 弘	スズキの未来と未来の子供に  三重トヨペット株式会社 代表取締役会長 川 喜 田 久 代表取締役社長 井 上 喜 晴 TEL 059 (227) 7171 (代表)

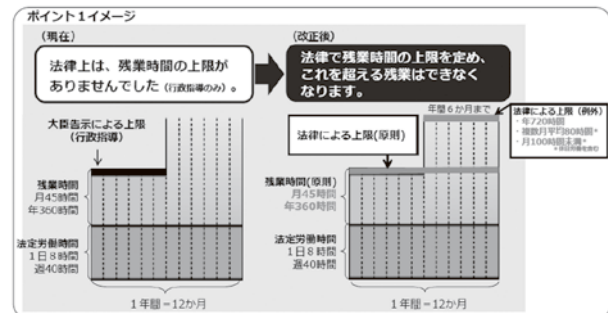
Think Next Security  MIWA 美和ロック株式会社 http://www.miwa-lock.co.jp/	消防防災で安全安心を創る 株式会社 山 口 商 会 代表取締役社長 山 口 久 彦
名阪近鉄バス株式会社 取締役社長 松 田 健 観光バス営業部三重支店 TEL:059-346-1722	社会と企業が求める人材を育成する 学校法人 曉 学 園 四日市大学 理事長 丸 山 康 人 学 長 岩 崎 恭 典
安田小児科内科 病児・病後児・預り保育「ミー」併設 理事長 安 田 尚 樹 TEL:0598-28-8828	三重県経営者協会 職員一同
 株式会社 安永 Yasunaga 代表取締役社長 安 永 暁 俊	



2020年4月1日から中小企業にも 時間外労働の上限規制が適用されます。

時間外労働の上限規制の導入は、大企業には2019年4月1日から適用されています。中小企業は1年間猶予されていましたが、2020年4月1日から適用されます。

時間外労働の上限は、月45時間、年360時間を原則とし、臨時的な特別な事情がある場合でも年720時間、単月100時間未満（休日労働含む）、複数月平均80時間（休日労働含む）を限度に設定する必要があります。



「労働時間相談・支援」コーナーをご活用下さい。

平成30年4月から監督署内に「労働時間相談・支援」コーナーを設置しています。「労働時間相談・支援班」が、労働基準法の改正内容等について、説明会の開催、コーナーでの個別相談対応、ご要望に応じ事業場を訪問して説明させていただく等の相談・支援を行っています。

「労働時間相談・支援班」の相談・支援は、通常、労働基準監督官が行う労働基準関係法令に基づく行政指導（立ち入り調査等）と異なり、中小規模の事業場が労働時間に関する法制度を理解し、長時間労働の削減のための取組を推進していただけるように、きめ細やかな相談・支援を行うことを目的としています。

まずはお気軽に、お近くの労働基準監督署にお問合せ下さい。

【労働基準監督署電話番号】

四日市：059-342-0340
津：059-227-1282
伊賀：0595-21-0802

松阪：0598-51-0015
伊勢：0596-28-2164
熊野：0597-85-2277

三重労働局雇用環境・均等室からのお知らせ

【説明会を開催します!!】

令和2年4月から（中小企業は令和3年4月から）適用される「パートタイム・有期雇用労働法」への対応や、総合的ハラスメント対策（パワーハラスメント、セクシュアルハラスメント、いわゆるマタニティーハラスメント）、改正女性活躍推進法等最新の法改正について、下記のとおり説明会を開催します。

(1) 四日市会場

令和2年1月17日 金曜日

① 10時から12時まで ② 13時30分から15時30分まで

四日市市勤労者・市民交流センター 大会議室

(2) 津会場

令和2年2月5日 水曜日

① 10時から12時まで ② 13時30分から15時30分まで

三重県総合文化センター 男女共同参画センター セミナー室A

申込は、雇用環境・均等室（指導班） ☎ 059-226-2318 までお問合せ下さい。

※詳細は、三重労働局ホームページをご確認下さい。

三重県労働委員会

個別労働関係紛争のあっせん制度のご案内

～労使トラブルの解決をお手伝いします～

個別労働関係紛争のあっせんは、個々の労働者と会社との間で、労働条件などをめぐって紛争が発生し、自主的な解決が困難なとき、当事者からの申請に応じて、紛争を平和的に解決するための仲介・援助などを行う制度です。

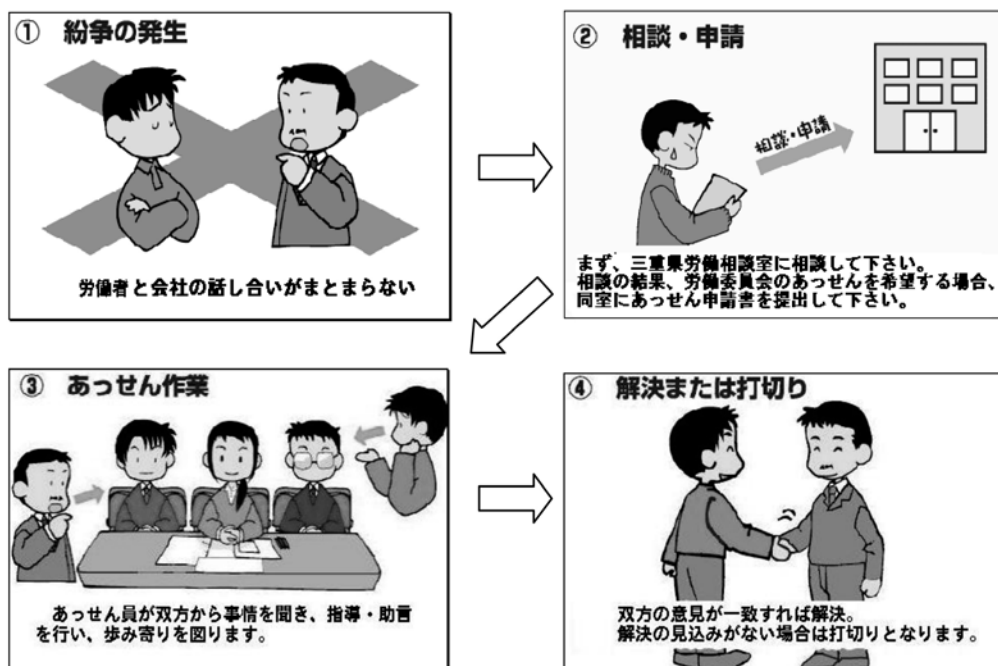
こんなときご利用ください(例示)

- ・ 経営上の理由から配置転換を命じた従業員が、理由もなく拒否している。
- ・ 勤務評定に基づき賞与を減額した従業員から増額を求められ、話し合いがつかない。
- ・ 整理解雇した従業員に何度も説明を行っているが理解してもらえず、裁判所に訴えられている。

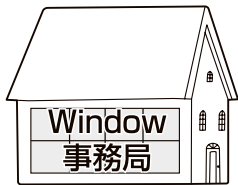
労働委員会のあっせんの方法

あっせん員は、労働者側、使用者側及び第三者の性格を持つ公益側から各1名、計3名の経験豊富な委員が任命されます。あっせん員が公平・中立な立場で当事者双方の言い分を聞き、紛争解決のために適切な助言を行い、双方の歩み寄りを図ります。その結果、双方の意向が一致することで解決が図られます。

まず、三重県労働相談室にご相談ください。
あっせんは、三重県労働委員会が行います。



問い合わせ先	三重県労働委員会事務局	TEL:059-224-3033	FAX:059-224-3053
	(〒514-0004 津市栄町1丁目954 三重県栄町庁舎5階)		
相談・申請窓口	三重県労働相談室	TEL:059-213-8290	



新会員の紹介

株式会社東京商工リサーチ津支店

事業内容 信用調査会社

代表者 支店長 嶺澤 博徳

所在地 津市栄町1-840
(グランスクエア津)

電話 059-227-7361

ホームページ <https://www.g-search.or.jp/>



日本たばこ産業株式会社津支店

事業内容 食品

代表者 津支店支店長 西川 雅彦

所在地 津市栄町2-323
津TMTビル1F

電話 059-228-0186

ホームページ <https://www.jti.co.jp/>



れんらく・つうしん

2020年 春季労使交渉セミナー

日時 令和2年2月25日(火) 14:00～16:00

場所 プラザ洞津 2階 「明日香の間」

津市新町1-6-28 (津新町駅下車西へ徒歩3分)

Tel 059-227-3291

定員 30名 (定員になり次第、締め切ります)

受講料 本会会員会社1名は無料 (但し、2名目以降は1名につき3,000円)

非会員 1名につき10,000円

講師 1. 『2020 春季生活闘争 連合(三重)の基本姿勢』

日本労働組合総連合会三重県連合会 会長 吉川 秀治 氏

2. 『2020 年版経営労働政策特別委員会報告』

(一社)日本経済団体連合会労働法制本部 副本部長 鈴木 重也 氏

※詳細につきましては、当協会のホームページをご参照下さい。

ご存知ですか…こんな機関？

出向・移籍支援事業

「失業なき労働移動」をめざして

人材 送出 企業

- 人員に余剰感がある
- 雇用調整を検討している

- 一時的に仕事量が減り社員の出向先を探しておられる企業
- 支店閉鎖、工場閉鎖などで社員の移籍先を探しておられる企業
- 工場移転を計画されており人材の過不足が発生する企業
- 不採算部門があり人材の移動を考えておられる企業
- 事業規模の縮小を計画されている企業

産業雇用 安定センター 三重事務所

送出情報の 収集・登録

受入情報の 提供

受入情報の 収集・登録

送出情報の 提供

企業どうしの話し合い・面接

出向・移籍の成立

無料

人材 受入 企業

- 事業の拡大、欠員発生などにより、必要な要員を確保したい企業
- 新規部門に精通した人材を採用したい
- 経験豊富な即戦力の人材を確保したい企業

- 人員が不足している
- 人材の補充を検討している

当センターをご利用いただく場合は
前もってご連絡ください。

公益財団法人
産業雇用安定センター 三重事務所
TEL 059-225-5449

業務日誌
2019.10.12

事業名	と き	と ころ
10 月度理事会及び特別講演	10/17 (木)	都シティ津
女性懇話会	10/24 (木)	兵庫県 宝塚市・神戸市
労務管理改善協力委員会 第 1 部会	11/ 8 (金)	ブラザ洞津
働き方改革アドバイザー派遣事業中間報告会	11/13 (水)	三重県勤労者福祉会館
中部経協三県連携事業 階層別研修 第 2 回「部下育成講座」 ～グローバル時代に求められるビジネスパーソン像と管理職の育成～	11/15 (金)	ブラザ洞津
年末調整実務セミナー	11/18 (月)	ブラザ洞津
(一社) 日本経済団体連合会 幹事会・地方団体長会	11/19 (火)	日本経団連会館
第 21 回三重県経営者協会会員親睦コンペ	11/20 (水)	松阪カントリークラブ
中部経協三県連携事業 新入社員フォロー研修 第 2 回「チームワークを大事にする新人育成」	12/ 5 (木)	ブラザ洞津
女性懇話会役員会	12/ 9 (月)	三瀬谷大黒屋津市乙部店
ステップアップカフェ Cotti 菜 5 周年記念イベント	12/12 (木)	三重県総合文化センター
「不妊治療と仕事の両立支援に関する連携協定」締結式	12/16 (月)	三重県庁



三重県経営者協会

TEL 059-228-3557

FAX 059-228-3710

ホームページ

<http://miekeikyo.jp>

E-mail

info@miekeikyo.jp

〒514-8691 津市丸之内養正町4-1 森永三重ビル3F

2020年1月25日 発行
発行人／三重県経営者協会